

第1学年 音楽科学習指導案

対 象 1年3組 男15名、女13名 計28名

指導者 小谷地 美穂

1 題材名 ようすをおもいうかべてうたおう

教材名 主教材 「はる なつ あき ふゆ」 三浦真理 作詞・作曲 (教育芸術社 音楽1)

2 題材について

(1) 児童について

本学級の児童は4月に入学してから、校歌を覚え、滝沢市愛唱歌に親しみ、月の歌を毎日明るい声で歌ってきた。音楽の学習では、いろいろな歌を学習していく中で、拍の流れを感じ取る活動や基本的なリズムを表現する活動を楽しみながら行ってきた。

本題材にかかわる学習内容について事前アンケートと演奏聴取を行ったところ、次のような結果となった。

歌を歌うときに、歌詞の意味を考えて歌っているか。	考えて歌っている	71% (20人)
	どちらかというと考えて歌っている	21% (6人)
	どちらかというと考えて歌っていない	4% (1人)
	考えて歌っていない	4% (1人)
歌詞の様子に合うように表現して歌っている。(演奏聴取)	表現して歌っている	11% (3人)
	表現して歌っていない	89% (25人)

この結果を見ると、ほとんどの児童が自分では歌詞の意味を考えて歌おうとしていることが分かる。しかし、歌っている姿を見ると、歌詞の様子に合うように自分で表現している児童はほとんどいなかった。そこで、児童が考えた歌詞の表す様子に合う表現の工夫をさせたいと考え、この題材を設定した。

(2) 教材について

「はる なつ あき ふゆ」は、短い詩ではあるが、児童にも分かりやすい言葉で四季が表現されている。言葉を丁寧に発音して歌詞を読む活動や、歌詞の表す様子を思い浮かべ、場面を想像して強弱や速度に変化を付けて歌う活動などを通して、表情豊かな歌い方を工夫させたい。

本教材の中心となる指導事項として【A 表現・歌唱】のイ「歌詞の表す様子や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。」を取り上げる。共通事項は、ア「音楽を形づくっている要素」のうち、(ア)「速度、強弱」の「音楽を特徴付けている要素」を取り上げる。

この学習を、2年生の題材「6. ようすをおもいうかべよう」の学習へとつなげていく。

(3) 指導について

本題材では、歌詞の表す様子を想像して、楽曲の気分に合った表現を工夫して歌うことをねらいとする。これまでは、音楽を表現するうえで必要な拍の流れやリズム、音程に対する感覚を中心に学習してきたが、ここでは、表現を豊かなものにするために必要な、児童の感性を育てることに重点を置いて展開する。歌詞から場面を想像して強弱や速度に変化を付けて歌う活動は本題材が初めてだが、「はる なつ あき ふゆ」には、歌い方を工夫する際のヒントとなる言葉が散りばめられており、それらの言葉を基にどんなふうに歌いたいかという思いを引き出すようにする。また、グループで相談しながらイメージをより鮮明なものにして歌えるようにさせたい。こうした活動を通して、「思いをもって歌うこと」の大切さ、面白さに気付くことができるようにさせたい。

3 題材の目標

(1) 音楽への関心・意欲・態度

- ・歌詞の表す様子を想像しながら歌う学習に進んで取り組もうとする。

(2) 音楽表現の創意工夫

- ・歌詞の表す様子や気持ちを想像して、発音や表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。

(3) 音楽表現の技能

- ・歌詞の表す様子や気持ちに合った表現で歌う。

4 指導と評価の計画

時	学習内容	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
1	「はる なつ あき ふゆ」の歌詞の表す様子を想像しながら歌い、表現の仕方を工夫する。	歌詞の表す様子を想像しながら歌う学習に進んで取り組もうとしている。	歌詞の表す様子や気持ちを想像してどのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞の表す様子に合った表現で歌っている。
2 【本時】	歌詞の表す様子や気持ちに合う表現の仕方を工夫し、表情豊かに歌う。	歌詞の表す様子を想像しながら歌う学習に進んで取り組もうとしている。	歌詞の表す様子を想像して強弱や速さ等の表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞の表す様子を想像して強弱や速さ等の表現を工夫して歌っている。
小2	歌詞の内容や楽曲の気分に合った歌い方を工夫する。工夫したことを生かして、気持ちをそろえて歌う。	歌詞の内容から様子や気持ちを想像し、思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、歌詞の表す様子や気持ちを想像して、声の出し方、速度や強弱を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞の表す様子や気持ちを思い浮かべながら、工夫したことを生かして、友達と気持ちをそろえて歌っている。

5 本時の指導

(1) 目標

「はる なつ あき ふゆ」を、歌詞の表す様子に合う表現の仕方を工夫し、表情豊かに歌うことができる。

【速度、強弱】

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
音楽表現の創意工夫	歌詞の表す様子を想像して強弱や速さ等の表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。
音楽表現の技能	歌詞の表す様子を想像して強弱や速さ等の表現を工夫して歌っている。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 5分	1 ウォーミングアップ リズム遊びをする。 2 前時の想起 歌詞の表す様子を想像しながら「はる なつ あき ふゆ」を歌う。 3 課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">かしにあわせて、うたいかたをくふうしよう。</div>	●強弱や速度に触れる。 ●歌詞をよく読むことで歌の中身が想像しやすくなることを確認する。
展開 35分	4 課題の解決 (1) 言葉を丁寧に発音して、歌詞を読む。 (2) 挿絵も見ながら場面を想像し、強弱や速度に変化をつけて歌う。 (3) 自分が気に入った季節を選び、どこをどう歌いたいか考え、ワークシートに書く。 (4) 季節ごとにグループを作り、表現の仕方を工夫して練習する。 (5) 工夫した歌い方を互いに聴き合う。 (6) それぞれのグループで考えたことを基にして学級での方向性をまとめる。 5 まとめ	●教科書の の言葉に注目し、様子を体の動きで表したり、声の強弱や発音に気を付けて読んだりするように助言する。 ●体の動きをつけて音読したり、歌ったりして、声の強弱や速度の変化が自然と歌に生かせるようにする。 ●「ふわり」はやさしく、ゆっくりなどのように、歌詞から強弱・速度につながるよう思いを引き出し整理して板書する。 ●皆で考えた表現も参考にさせ、自分の思いをもてるようにする。 ◎歌詞の表す様子を想像して強弱や速さ等の表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。(ワークシート) ●歌詞の表す様子を想像しながら練習する。 ●グループの交流では、自分の考えを伝え、友達の考えを認められるようにさせる。皆から出たいろいろな表現で練習させる。 ●伴奏をつけるかを決めさせ、考えた工夫が友達に伝わるように歌うよう促す。 ●まとめの歌を歌わせる。 ◎歌詞の表す様子に合った表現で歌っている。(演奏聴取)

終末 5分	6 振り返り	●学習の感想を伝え合わせる。
	<p>【振り返り 例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで歌詞に合うように歌い方を考えて、最後にみんなで歌えて楽しかった。 ・歌詞に合わせて歌うときは、歌う速さを変えたり、強さを変えたりするといいことが分かった。 	
	7 次時の確認	●次回はいろいろな楽器の音を聴いて楽しむ活動をしていくことを知らせる。

(4) 板書計画

かしにあわせて、うたいかたをくふうしよう。

つよい

よわい

はやい

ゆっくり

四、

よわく、はやめに

ちいさな

おそらで

きたかぜ

ふゆの

よる

ほしが

ひかる

つめたい

三、

こりすが

どんぐり

いそいで

あきの

ちよろり

かかえ

おでかけ

もり

二、

おおきな

ざぶんと

たいよう

なつの

くじら

もぐる

きらきら

うみ

一、

たんぽぽゆれる

わたげが

ちようちようが

はるの

みち

ふわり

あいさつ

やさしく